

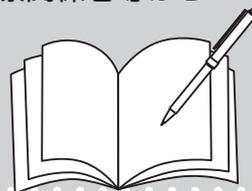
行事等

- 1月6日：獣医師賠償責任保険中央審議会
：令和3年度第1回農場管理獣医師活動周知・普及推進委員会に境副会長兼専務理事が出席
- 1月14日：令和4年度畜産振興事業実施計画ヒアリング（WEB）に境副会長兼専務理事が出席
- 1月17日：薬剤耐性ワンヘルス動向調査検討会（WEB）に境副会長兼専務理事が出席
：令和3年度第2回獣医学術功績者選考委員会（WEB）
- 1月20～22日：アジア獣医師会連合（FAVA）大会「アジアワンヘルス福岡宣言」起草委員会に境副会長兼専務理事、酒井顧問が出席
- 1月21日～（2月6日）：令和3年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会 WEB 開催
- 1月26日：令和3年度第10回業務運営幹部会（WEB併用）
- 1月27日：令和3年度第3回日本獣医師会学会正副会長会議（WEB）
- 1月29日：FAVA 執行部会議に藏内会長が出席

日本獣医師会雑誌投稿原稿の募集について

日本獣医師会においては、構成獣医師をはじめ多くの獣医療関係者等から日本獣医師会雑誌への投稿原稿を広く募集しております。

なお、投稿に際しては、「日本獣医師会雑誌投稿規程（本誌第74巻第12号769頁に掲載）」を参照願います。



紹介

◎新刊

野生動物の法獣医学 もの言わぬ死体の叫び

本書は、酪農学園大学野生動物医学センター（WAMC）のセンター長を務める著者及び学生たちによる、さまざま動物の剖検の記録である。著者は剖検記録の積み重ねから、医学の一分野である「法医学」と同様に、野生動物においても死因を究明する「法獣医学」の学問体系を確立したいと説かれている。

この「野生動物の法獣医学」は、いま世界的に注目されている「ワンヘルス」の概念—人と動物と環境はすべてつながっていて、三者が健康であってこそ人類と地球の望ましい未来がある—においても重要な役割を担うとする著者が、18年にわたり野生動物の死因解析に携わるなかで、「もの言わぬ死体の叫び」を

聞き取り、現代人の暮らしが野生動物の人為的な原因による死の上に築かれていることを実感し、生きものと共に生きることを意味を問う書。

著者：浅川満彦

発行：(株)地人書館

発売日：2021年12月31日

ISBN：978-4-8052-0957-8

判型：四六判

ページ：256頁

定価：1,980円（本体1,800円＋税）

問合せ先：(株)地人書館編集部

〒162-0835 東京都新宿区中町15

TEL 03-3235-4422

FAX 03-3235-8984

E-mail：chijinshokan@nifty.com

URL：http://www.chijinshokan.co.jp/

案 内

第21回 アジア獣医師会連合（FAVA）大会の開催

2022（令和4）年11月11日（金）～13日（日）の3日間、「第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会」を福岡県福岡市の「ヒルトン福岡シーホーク」にて開催いたします。

本大会では、ノーベル賞受賞者の記念講演を計画しているほか、海外から著名な講師を招聘したシンポジウム等を数多く開催する予定です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。



お知らせ

動物診療施設等に勤務している動物看護職の皆様へ

愛玩動物看護師法が今年5月1日に施行されます！

講習会の受講、予備試験への合格を通じ、国家資格である「愛玩動物看護師」資格の取得を目指しましょう。

※関係情報は以下をご覧ください。

(一財) 動物看護師統一認定機構
ウェブサイト

<https://www.ccrvn.jp/>



農林水産省
ウェブサイト

http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/dobutsu_kango/index.html



環境省
ウェブサイト

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/r0309b.html



募 集

日本獣医師会 第34回日本動物児童文学賞作品募集要項

～人と動物との共存等を扱った作品の募集～

1 名 称

第34回日本動物児童文学賞

2 目 的

この事業は、動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年10月1日法律第105号、以下「動物愛護管理法」という。）の目的及び基本原則等の趣旨に則り、次代を担う子供たちが正しい動物福祉・愛護の考え方を身に付けることができるよう、動物の福祉・愛護に関するより良い文学作品を広く募集し、選考・審査の上、入賞作品を日本動物児童文学賞として決定し表彰・公表するとともに特に優れた作品を普及させることにより、児童の健全な育成と豊かな人間性を涵養することを目的として実施する。

3 募集期間

令和4年1月1日(土)～4月20日(水)（※当日消印有効）

4 募集内容

読者対象を満6歳以上12歳までの学齢児童とし、動物の虐待防止、動物の適正飼養、人と動物のふれあい、人と動物との共生及び動物福祉・愛護等を扱ったもので未発表の作品であること。（ただし、商業出版を目的としない同人雑誌等への発表は差し支えない。）

5 応募規定

- (1) 原則としてワープロ原稿とし、原稿データを郵送または電子メールへの添付により『10 応募先』に送付すること。手書き原稿も受け付けるが、その場合は、丁寧な字ではっきりと書くこと。
- (2) 原稿は、A4判横向き〔43字×28行〕を縦書きで作成すること。本文（あらすじを除く）の総枚数は13枚以上20枚以内、フォントサイズ（文字の大きさ）は12ポイントとする。ただし、手書き原稿の場合は、400字詰原稿用紙を縦書きで使用し、本文の総枚数40枚以上60枚以下とする。
- (3) 最初の1枚は応募用紙とし、①タイトル、②応募者の氏名（フリガナ）、③年齢、④性別、⑤職業、⑥郵便番号、⑦住所、⑧電話番号／FAX番号、⑨E-mailアドレス、⑩主要登場動物、⑪原稿（応募用紙、あらすじを除く）の総枚数、⑫本賞の作品募集を何で知ったかを明記すること。

2枚目に、400字以内で作品のあらすじを記載

すること。

本文は3枚目から開始し、各ページにページ番号を記載すること。

- (4) 原稿は、本会にて複写するため、ホッチキスやとじ紐などで綴じないこと。
- (5) 応募者の個人情報の取扱いは以下のとおりとする。応募者及び、応募者が未成年の場合その保護者は、内容を確認し、同意したうえで応募すること。
 - ① 個人情報保護管理者
公益社団法人 日本獣医師会 事務局長
 - ② 利用目的
応募者の統計的分析、作品の審査、審査結果の連絡など「第34回日本動物児童文学賞」に係る事務処理
 - ③ 個人情報の第三者提供
本人の個人情報を第三者に提供しない。
 - ④ 個人情報の委託
「第34回日本動物児童文学賞」に係る事務処理業務を遂行するために必要な範囲内で業者に委託する
 - ⑤ 個人情報に係る問合せ窓口
個人情報に係る問合せは下記『11 問合せ先』に示す連絡先の個人情報保護担当者まで連絡できる。

尚、個人情報を本会へ提出することは任意だが、必要事項を提出しない場合、適切な選考・審査ができない場合がある。

6 応募資格

プロ・アマチュアを問わず、年齢15歳以上の者とする。ただし、過去の本賞における大賞受賞者は対象外とする。

7 賞

日本動物児童文学大賞	1作品	= 30万円
日本動物児童文学優秀賞	2作品以内	= 20万円
日本動物児童文学奨励賞	5作品以内	= 5万円

※副賞は所得税法に則り源泉徴収の対象です。

大賞・優秀賞受賞作品は日本動物児童文学賞受賞作品集に収録され広く配布されるとともに、本会ホームページに公開されることがある。

なお、大賞及び優秀賞を受賞した場合には、受賞作品の作者は挿絵を3枚以上本会へ提供すること。

8 発 表

令和4年9月下旬頃に、本会のホームページ上で受賞作品を掲載する。

9 主 催

公益社団法人 日本獣医師会

10 応 募 先

応募原稿受付専用メールアドレス：

bungaku@nichiju.or.jp

〒107-0062

東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23階
公益社団法人 日本獣医師会 宛て

- *応募の際は、郵送の場合は封筒に、電子メールの場合は件名(タイトル)に、「第34回 日本動物児童文学 応募作品 在中」と記入すること。
- *上記メールアドレスへ原稿を送った場合、応募受付の確認メールが4営業日以内に届かなかった際には、『11 問合せ先』に連絡すること。
- *データ原稿と紙面の原稿を重複して送付しないこと。

11 問 合 せ 先

公益社団法人 日本獣医師会事務局

☎03-3475-1601

※応募作品の内容訂正、審査状況に関する問合せは不可

12 著 作 権

- (1) 入賞作品の著作権は著作者に帰属するものとする。ただし、本事業に伴い実施する日本動物児童文学賞入賞作品集への掲載及び本会ホームページへの掲載並びに本会の事業において特に必要な場合には、本会はこの作品をいつでも無償で利用できることとする。
- (2) 著作者が入賞作品を出版等する場合には、日本獣医師会日本動物児童文学賞入賞作品である旨を明記することとする。

13 そ の 他

- (1) 応募作品は返却しない。
- (2) 「日本動物児童文学賞入賞作品集」は切手310円分(送料)を同封の上、本会事務局まで申し込めば希望者に送付する。(在庫数に限りがある。)